

東京経大会誌

— 経済学 —

NO. 227

2002

中村貞二教授退任記念号

中村貞二教授近影

中村貞二教授退任記念号の発刊に寄せて……………賀 川 昭 夫

中村貞二教授略歴ならびに著作目録

恩師中村先生の思い出……………米 沢 和 彦

論 文

大学における反戦平和教育の在り方をめぐって

—— オックスフォード大学と東京経済大学での体験から —— ……今 井 義 夫

マックス・ヴェーバーと職業倫理……………山 田 高 生

歴史的思考と「現実感覚」

—— J.G.ドロイゼン『歴史学』をめぐる一断章 —— ……嘉 目 克 彦

経験主義的経済学の源流

—— スミス経済学における他者の存在 —— ……鈴 木 信 雄

生産力と生産関係とイデオロギー

—— 高島善哉『時代に挑む社会科学』の整理と展開の試み —— 長 島 誠 一

自治体社会政策と給付行政

—— 19世紀末ドイツの問題史的展望 —— ……木 村 周市朗

日本型福祉国家とソーシャル・ポリシー……………藤 田 伍 一

<幹線道路沿いの商業開発>の考察

—— 公共交通中心の社会に向けて —— ……姫 野 侑

中国の農村現代化試論（上）……………劉 進 慶

国分寺市都市再開発に関する考察（続）……………柴 田 徳 衛

加 藤 雅

研究ノート

景気変動の原因について（VII）……………加 藤 雅

東京経済大学経済学会

東京経済大学経済学会会則（抜粋）

第1条 本会は、東京経済大学経済学会と称する。

(2) 本会の事務局は、東京経済大学経済学部におく。

第2条 本会は、経済学およびこれに関連する研究並びにその普及を目的とする。

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 学会誌『東京経大会誌－経済学－』の発行
2. 研究会および講演会の開催
3. その他理事会において適切と認めた事業

第4条 東京経済大学の専任教員および名誉教授は、申し込みにより本会の普通会員になることができる。

第5条 東京経済大学の卒業生および同大学院研究科の在籍者・卒業生は、申し込みにより特別会員になることができる。

(2) 普通会員1名の推薦を得た者は、理事会の承認により特別会員になることができる。

第6条 本会の会費は別に定める。

『東京経大会誌－経済学－』投稿規定

第1条 東京経済大学経済学会会員および教育・研究機関に所属する研究者（大学院生を含む）は、投稿の資格を有する。

第2条 投稿原稿は、経済学、法学および関連領域に関する学術論文・研究ノート・書評とする。

第3条 原稿枚数は原則として次の通りとする。

1. 論文：400字詰め原稿用紙80枚（注および図・表を含む）以内
（欧文の場合は、A4サイズ用紙、1行65ストローク、ダブルスペースで1ページ30行として、32枚以内）
2. 研究ノート：同じく60枚以内（欧文では同じく24枚以内）
3. 書評：同じく15枚以内（欧文では同じく6枚以内）

なお、投稿論文には「欧文タイトル」と「欧文氏名」をつけ、ワープロ入力したフロッピーを添付すること。

第4条 投稿原稿の採否は、必要に応じて査読制度による審査のうえ編集委員会で決定する。

(2) 投稿原稿が多数の場合、非会員の投稿原稿は受理されないことがある。

本誌への投稿希望者は、上記の投稿規定をご参照のうえ、下記の住所の学会誌編集委員会宛に原稿3部をお送り下さい。

原稿送付先：

〒185-8502 国分寺市南町1-7-34東京経済大学経済学部

東京経済大学経済学会 学会誌編集委員会

電話 042(328)7743 FAX 042(328)7772

目 次

中村貞二教授退任記念号

中村貞二教授近影

中村貞二教授退任記念号の発刊に寄せて	賀 川 昭 夫	3
中村貞二教授略歴ならびに著作目録		5
恩師中村先生の想い出	米 沢 和 彦	13

論 文

大学における反戦平和教育の在り方をめぐって

—— オックスフォード大学と東京経済大学での体験から ——	今 井 義 夫	19
-------------------------------------	---------	----

マックス・ヴェーバーと職業倫理	山 田 高 生	27
-----------------------	---------	----

歴史的思考と「現実感覚」

—— J.G.ドロイゼン『歴史学』をめぐる一断章 ——	嘉 目 克 彦	39
-----------------------------------	---------	----

経験主義的経済学の源流 —— スミス経済学における他者の存在 ——	鈴 木 信 雄	57
---	---------	----

生産力と生産関係とイデオロギー

—— 高島善哉『時代に挑む社会科学』の整理と展開の試み ——	長 島 誠 一	73
--------------------------------------	---------	----

自治体社会政策と給付行政 —— 19世紀末ドイツの問題史的展望 ——	木 村 周市朗	89
--	---------	----

日本型福祉国家とソーシャル・ポリシー	藤 田 伍 一	113
--------------------------	---------	-----

<幹線道路沿いの商業開発>の考察 —— 公共交通中心の社会に向けて ——	姫 野 侑	125
--	-------	-----

中国の農村現代化試論 (上)	劉 進 慶	145
----------------------	-------	-----

国分寺市都市再開発に関する考察 (続)	柴 田 徳 衛	155
	加 藤 雅	

研究ノート

景気変動の原因について (VII)	加 藤 雅	181
-------------------------	-------	-----

執筆 者 紹 介 (掲載順)

賀 川 昭 夫	本学経済学部長・教授
米 沢 和 彦	熊本県立大学教授
故 今 井 義 夫	工学院大学名誉教授・ 元本学非常勤講師
山 田 高 生	成城大学教授
嘉 目 克 彦	大分大学教授
鈴 木 信 雄	千葉経済大学教授
長 島 誠 一	本学教授
木 村 周市朗	成城大学教授・ 本学非常勤講師
藤 田 伍 一	一橋大学大学院教授
姫 野 侑	本学教授
劉 進 慶	本学教授
柴 田 徳 衛	本学名誉教授
加 藤 雅	本学教授

東京経大会誌 第227号

〈非売品〉

編 集 渡 辺 裕 一
代 表 者

編 集 東京経済大学経済学会
発 行 人

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34
電話 042-328-7743 (直通)
FAX 042-328-7772

印刷／製本・(株) 春恒社

2002 年 1 月15日発行

THE JOURNAL OF TOKYO KEIZAI UNIVERSITY

No.227

January 2002

CONTENTS

The Portrait of Professor TEIJI NAKAMURA

On the Publication of the Special Issue

Dedicated to Professor TEIJI NAKAMURAAkio KAGAWA... 3

Brief Biography and Bibliography of Works 5

The Reminiscences of Prof. NAKAMURA.....Kazuhiko YONEZAWA... 13

Articles

Peace Education in College : Personal Experiences of Oxford
and Tokyo Keizai UniversityYoshio IMAI... 19

Max Weber über BerufsethikTakao YAMADA... 27

Das Historische Denken und » der Sinn für die Wirklichkeiten «
—— Ein Fragment um J. G. Droysens „Historik“ ——Katsuhiko YOSHIME... 39

On the Origin of Empirical Economics.....Nobuo SUZUKI... 57

Productive Forces, Relation of Production and IdeologySeiichi NAGASHIMA... 73

Municipal Social Policy and “Leistungsverwaltung” : The Formation
of German Social Administration in Historical PerspectiveShuichiro KIMURA... 89

Japanese-style Welfare State and Social PolicyGoichi FUJITA...113

On Commercial Strips Along Main Road
—— Towards Transit Oriented Society ——Atsumu HIMENO...125

A Primitive Inquiry into Agrarian Modernization in China (1)Shinkei LIU...145

Inquiries into the Reconstruction Plan of Kokubunji-City (Continued)Tokuei SHIBATA...155
Masashi KATO

Note

Causes of Business Cycles (VII)Masashi KATO...181

Published by

TOKYO KEIZAI ASSOCIATION OF ECONOMICS

Kokubunji-shi, Tokyo